

科目名	心理学的支援法			担当教員	野村 香代
単位	1単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SPS314
期待される学修成果	子ども理解 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	臨床心理士、公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	医療機関で実施してきた心理療法の経験をもとに、実施の際の注意点や起こりうる問題に関しても説明を加える。				
到達目標及びテーマ	1.主要な心理療法の理論体系を理解し、各技法の目的や支援の機序を適切に説明できる。 2.ロールプレイやペアワーク等の体験的学習を通じて、各理論に基づく基本的な関わりや技法を、状況に応じて試行する基礎力を養う。 3.各支援法の適応（対象となる状態や疾患）と限界を把握し、クライアントの安全確保および多職種連携における心理的支援の役割を理解する。				
授業の概要	本講義では、公認心理師に求められる主要な心理学的支援法の基礎理論と、その実践的な技法を習得する。毎回の講義では特定の心理療法を扱い、前半の講義で理論的背景や支援の機序を学んだ上で、後半はロールプレイやワークを通じてその技法を体験的に学習する。理論と体験を往還することで、各技法の具体的な活用法のみならず、その支援法が適応となる状態や多職種連携における位置づけ、および実施上の倫理的配慮についても考察を深める。対話を通じた自己と他者の理解を基盤に、実践現場で責任ある支援を行うための基礎的素養の獲得を目指す。【デジタル技術利用 該当番号：①、③】				

授業計画	
第1回	イントロダクション・心理学的支援とは（第1章）
第2回	方法の選択と適応の限界（第2章）
第3回	人間性アプローチに基づく支援（第3章）
第4回	精神分析（第4章）
第5回	行動療法（第5章）
第6回	認知行動療法（第6章）
第7回	遊戯療法・箱庭療法（第12章）
第8回	講義のまとめと最終テスト

事前学修	2時間	教科書の該当ページを読みこんでおくこと
事後学修	2時間	講義内容を振り返り、実際に心理療法がおこなえるように、基礎知識を整理すること
フィードバックの方法	①小テストを実施し、知識の習得度を把握できるようにする。 ②振り返りシートは、UNIPAを通してコメントし、質問事項に関しては講義で解説を加える。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	①振り返りレポート(20%)、②小テスト(20%) ③授業内課題への取り組み(10%) ④最終評価(50%)
定期試験		0%	実施しない
補足事項	本講義は公認心理師養成のためのカリキュラムとなる科目であり、心理療法に関する専門的な知識や体験を行う講義である。そのため、単なる体験への参加に留まらず、各心理療法の理論的背景や適応、および支援における倫理的配慮に関する知識の習得を単位認定の前提条件とする。最終評価においては、体験的学習を通して得られた洞察と、心理学的支援に関する専門的知識が一定の到達水準に達しているかを十分に確認する。 なお講義は、前期後半（第9回～第16回）に行う。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
心理学的支援法（公認心理師スタンダードテキストシリーズ）	下山晴彦（監修，編集），佐藤隆夫（監修），本郷一夫（監修），森田慎一郎（編集）	ミネルヴァ書房	4623086259	ISBN-13：978-4623086252

